

令和 8年度予算見積調書

課室名：高校教育指導課
担当名：特色化推進担当
内線：6772

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P37	ICTを活用した遠隔教育導入・展開実証事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	教育課程推進費	
事業期間	令和 6年度～令和 8年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			針路分野施策	05 未来を創る子供たちの育成 0504 質の高い学校教育の推進	SDGsゴール 4 SDGsターゲット 4-1, 4-6, 4-7	
1 事業概要 特定教科の教員免許を持つ教員がいない・科目の専門性がないなど教員の確保が困難な科目や、個々の生徒の習熟度に応じた学びに対する遠隔授業を導入し、生徒の多様な科目選択の実現と生徒の多様な学びの機会の充実等を図る。 オンラインによる遠隔教育の実証研究 7,145千円				5 事業説明 (1) 事業内容 オンラインによる遠隔教育の実証研究 7,145千円 (2) 事業計画 ア 遠隔授業の環境整備 (ア) 配信ブースの増設 (イ) 受信校の環境充実 (ウ) 受信校訪問及び先進自治体への視察 イ 遠隔教育の研究 (ア) 生徒の希望に応じた選択科目や専門科目の学びの提供 (イ) 個々の生徒の習熟度に応じた学びの提供 (ウ) 人口減少が進む中での今後の県立高校の在り方についての研究 (3) 事業効果 ア 遠隔授業環境が整備される。 イ 教員の確保が困難な一部の科目の授業が受講可能になり、生徒の多様な科目選択が実現する。 ウ 生徒個々の習熟度に応じた学びが提供され、より適切かつ充実した授業が展開できる。 エ 小規模高校存続のための研究が促進される。 【活動指標(アウトプット)】 配信ブースの増設、受信校の環境充実、遠隔授業のカリキュラム構築(2科目) 受信校訪問(4校)及び先進自治体(3道県)への視察 大学教授等の専門家による特別講演の実施(6回)、関係団体等との意見交換会(3回) 【成果指標(アウトカム)】 遠隔授業で提供できる科目数(2科目)、生徒の学習意欲の向上(50%) 地元関係団体等と学校との交流機会の増加(年9回)					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
決定額	7,145							7,145	△9,209
前年額	16,354							16,354	

事業内訳書

事業名	ICTを活用した遠隔教育導入・展開実証事業		
単位事業名	ICTを活用した遠隔教育導入・展開実証事業	予算額	7,145千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	7,145	△9,209	
合計	7,145	△9,209	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	210	0	外部専門人材報償費 6回
旅費	1,029	△763	受信校出張旅費 ガイダンス主張旅費 先進自治体視察旅費
需用費	844	△1,400	教員用教材 遠隔教育用消耗品
使用料及び賃借料	1,905	308	ビデオ会議システムライセンス 遠隔授業支援アプリケーション
備品購入費	3,157	△7,354	遠隔教育用環境整備

単位事業名	ICTを活用した遠隔教育導入・展開実証事業	予算額	7,145千円
-------	-----------------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	7,145	△9,209	